

米中二大国の狭間で、 日本人として生きる

大阪市立大学 135 周年記念事業
OCU Global 塾 特別講演会

加藤嘉一氏

2015.7.17(金) 15:00~16:30

学術情報総合センター 10 階 大会議室

講演会終了後、参加学生との交流会を開催します。
参加希望者はポータルサイトからお申し込みください。

私は日本の高校卒業後、北京へ向かい、それから約 10 年間で中国で過ごしました。

中国は北京五輪や上海万博などを開催する時期に差し掛かっていて、人々はエネルギーにあふれていました。

日中関係は荒れました。それから渡米し、いま 3 年が過ぎようとしています。

日本を出ることによって、私は初めて日本を愛するようになりました。

日本が国際社会でどのような役割を果たし、その過程で日本人としての豊かさをどう追求していくべきか。

自分の問題として考えるようになりました。

私自身のストーリーと見聞を振り返りつつ、皆さんと一緒に考えたいと思います。

米中二大国の狭間で、日本は、日本人はどう生きるべきか。



加藤嘉一(かとう よしかず)

国際コラムニスト

ジョンズ・ホプキンス大学 高等国際関係研究大学院 客員研究員

米ニューヨーク・タイムズ中国語版コラムニスト

世界経済フォーラムGSC(グローバルシェイパーコミュニティ)メンバー

1984年静岡県生まれ。

2003年高校卒業後、単身で北京大学留学。同大学国際関係学院大学院修士課程修了。

「中国で最も有名な日本人」として注目を集め、2010年には中国の発展に貢献した人に贈られる「時代騎士賞」受賞。

中国版ツイッター(新浪微博)のフォロワー数は現在約150万。

2012年に渡米。ハーバード大学を経て、現在はジョンズ・ホプキンス大学で主に「日米同盟と中国の台頭」を研究。

著書、雑誌・新聞掲載、講演、テレビ出演等多数。

2014年、『たった独りの外交録 中国・アメリカのはざままで、日本人として生きる』(晶文社)を刊行。

[問い合わせ先] 国際センター 06-6605-3452 kokusai@ado.osaka-cu.ac.jp

OCU Global塾は、国際的に活躍されている様々な方々と学生が直接対話する機会を提供することにより、学生のグローバル志向を醸成することを目的としています。



Osaka City University



都市で学び 夢をつかむ